



〈建築中の大学棟〉



はまなす の実

— 第 7 号 —

平成10年 9月1日発行

鶴岡学園短期大学同窓会
札幌市南区藤野400番地

北海道文教短期大学内

TEL (011) 592-7636
FAX (011) 592-7636

「母校の飛躍に願いをこめて」

鶴岡学園短期大学同窓会

会長 北崎 廸子

〈食物栄養学科3期〉



会員の皆様お変わりなくお過ごしで
しらっしゃいますか、各々の地でい
いよご清祥にてご活躍のこととお喜び
申し上げます。また、口頃は同窓会の
活動にご支援とご協力を頂き、厚くお
礼申し上げます。

二十世紀も終りに近付き新世紀を迎
えるにあたって『希望という名』で
はなく『失望という名の電車』で衰亡
の途を辿っているといわれる日本。経
済不況、中、小だけではなく大企業と
いわれた会社の倒産が相次いだ為の失
業率の増加、十五歳未満の子供人口が
六十五歳以上の老年人口を下回る等々
あまり明るい話題のない昨今ですから
同窓の皆様もそれぞれのお立場でな
かご苦労なさいっていらっしゃること
とお察し申し上げます。毎年若い情熱
と才能に満ち溢れた後輩を会員に迎え
る私達ですが、一日もはやい経済の復
興により若者のエネルギーがこの日本、
ひいては世界の発展に向けて大きく貢
献できるような社会が建設されること
を願ってやみません。低迷している今

だからこそ社会が真に求めている人材
を育成するという使命が教育現場に期
待されるわけですが、母校が取り組ん
でいる外国語学部による四年制大学も
平成十一年四月の開校を目指し、準備
も着々と進んでいると伺っております。
母校の飛躍こそ同窓会の発展です。そ
の目を大いなる喜びで迎えたいと思っ
ておりますが、母校への皆様の
一層のご支援をお願い致したいと思います
です。本年は事業の一つとして、同窓
会規約を根本より検討し直して参りま
したが、同窓会総会において承認され
れば施行できる形になりました。今後
の活動の礎になれば幸いです。又、日
胆支部に於て短大との合同懇親会を行
うことになりましたが、徐々とはい
ながらも支部充実の成果をあげてきた
のではないかと感じております。『会
員の親睦を図る』ということが同窓会
の最大の目的であります。電話、FAX
等を利用して会報への投稿、ご
意見、情報などどしどしお寄せ頂きたく、
お待ちいたしております。世界中
の人々への平和の訪ずれ、母校のます
ますの発展、皆様のご多幸とご健康を
心よりお祈り申し上げます。

風 林 火 山

—これからの大学経営と本学—



北海道文教短期大学長
大学設置委員会委員長

浅川 修 二

「風林火山」—武田信玄の軍旗に書かれた(孫子)の句。「はやきこと風の如く、しずかなること林の如く、うばいとること火の如く、うごかざること山の如し。」環境の変化に自由自在に対応できる経営戦略。

一、これからの大学(短大を含む)経営

(1) 大学を取り巻く厳しい経営環境
これからの大学経営を考える場合の重要な視点として、少子化、高学歴化、国際化、情報化、多様化等がキーワードとなります。

少子化について言えば、十八歳人口は平成四年二百五十万人をピークに、平成十年には百六十二万人になり、これからは減り続けます。その結果、大学への受験生も減少することになります。平成十一(一九九九)年には、いわゆる短大への全入(志願者は全員が短大へ入学できる)時代になり、大学も平成二十一(二〇〇九)年には全入時

代を迎えるといわれています。

一方、高学歴化により大学・短大への進学率は年々高くなって、昭和三十年代に十%(エリート教育)であったのが、平成十年には五十%(ユニバーサル教育)になろうとしています。

多数の人が高等教育を受けられることは大変喜ぶべきことであります。しかし、大学(国立九十八、公立五十七、私立四百三十一、計五百八十六校)、短大(国立二十九、公立六十二、私立五百四、計五百九十五校)、特に私立大学・短大は受験者、入学者の減少により財源を失うことになり経営を圧迫しています。現実に定員割れ(経営破綻)を起している学校が増えており、近い将来倒産する大学が出て来るだろうといわれています。

(2) 厳しい経営環境への対応策

厳しい経営環境を乗り越えて、大学が生き残り、更に発展するための対策

としてなすべきことは何か。多くのことが考えられますが、基本的対応策について次のように考えています。

第一は、夫々の大学は本当に社会が必要とする人材育成をすること。

第二は、教員は、学生(顧客)のニーズに合った教育を行うこと、即ち従来の受身の授業ではなく、学生が魅力を感じ、自主的に学べるような授業方法を作り出していかねばなりません。

二、本学園の発展計画

本学の場合、どういう方向に発展させていこうとするのか(個人的見解を含む)について記述します。

(1) 大学の設立

ご承知の通り、学園は将来への発展策として、国際化が急速に進展する二十一世紀の社会において活躍できる人材育成を目的として、平成十一年四月、恵庭キャンパスに北海道文教大学(外国語学部—英米語学科、中国語学科、日本語学科—。特色は実践的な外国語教育で、そのために多数の外国人教員の授業や海外留学、国際交流の推進、公開講座等)設立準備を着実に進めており、本年十二月中には文部省の審査結果が発表される日程になっています。大学の建築も順調に進捗し、十一月中には完成する計画であります。

(2) 短大の動向

食物栄養学科では、伝統的に栄養士養成を行ってきた結果、多くの優れた

人材を社会へ送り出しました。しかし、最近(十年六月八日)、厚生省の方針として、「栄養士から管理栄養士の育成への転換が必要である」ことが発表されました。これに対して文部省や日本私立短期大学協会から反対意見が表明されたため事態は混乱しているというのが現状であります。学科としては、これからの状況を十分に見通しながら将来への対策を立てることになっています。

幼児教育学科は、現在、国の福祉事業として保育園の増設、保育時間の延長等によって保育の必要性が高まっています。卒業生の就職も好調です。しかし、将来共この状況が続くと考えるのは安易すぎますので、これからの社会情勢を分析しながら将来計画を立てることになっています。

生活文化学科は、改組転換して大学へ移行する計画で、教員の大学への異動、学生の大学への優先編入学等の対応策を考えています。

(3) 学園全体として

大学の設立は、学園の教育機関としての格上げになります。同時に大学と短大、大学と高校との協力関係(優先入学、優先編入学、教員や学生の交流等)を強化して学園全体の発展を図ることが重要であると考えています。

卒業生の皆様のご理解、ご協力を賜われますようお願い申し上げます。

(大学完成図五頁参照)

道南支部報告

「楽しいひととき」

道南支部 支部長

小野 幸子

〈食物栄養学科2期〉



道南支部の懇親会は、道東支部、根釧支部に次いで九月二十五日、函館で実施する事ができました。

各支部もそうでありますように、道南も大変広汎な地域なので、開催する準備のための連絡などについては、文明の利器、FAXが役立ちました。

車を用いると約四時間三十分位かかる距離に在りながらも、とどこおりなく行方事が出来ホットしております。

只、諸般の事情により、参加者は、あまり多くはありませんでしたが、欠席された方々から、メッセージが寄せられ先生方もなつかしく読まれ、喜んでいただけただけ事に、中味の濃い充実したものとなった事と思えます。

学舎で過ごした夢多かりし頃の、懐かしい日々の思い出をたどると一番鮮

明に焼きついていたのは、皆さん寮生活の事でした。Xマスパーティー、食事作りや学校祭の準備など、いくら話しても尽きることがありませんでした。

みんなて寄せ書きをいたしまして、この日の思い出として後日お礼状と共に送らせて頂きました。

我々の母校も今度は、社会の要求に於いて、その形容、形態を変えていくのでしようが、国際社会で通用する人材の育成のために四年制大学に向けての対応を怠ることのないよう希望すると共にそのためには、卒業した者としても、微力ながらも応援しようではな



いかと決意した次第です。

末筆ながら、この様に素晴らしい機会を与えて下さいました大学の皆様方、

同窓の志に深くお礼申し上げます。

これからも道南支部の横のつながりを大切にして行きたいと思っておりますので近況等をお待ちしております。

「懇親会に参加して」

沖崎 泉

(旧姓 大関)

〈食物栄養学科13期〉



初秋とはいえまだ少しだけ暖かさが残る函館で同窓会道南支部の懇親会が開かれました。一人だけでちよっぴり不安でしたが、会場で受付をすませた後、佐々木シロミ先生や田中律子先生のお顔を見たとなん学生時代にタイムスリップした様に感じました。それぞれ自己紹介をし近況やお仕事ぶり、学生時代の思い出話し等をゆつくりと聞く事ができました。また、短大の現在の様子や近年卒業された方々のお話にもとても勉強になりました。同じ市内にこんなにも沢山の同窓の方々がいるという事を何よりも心強く感じたのは私だけではなかったのではないのでしょうか。残念ながら同期の方とは会う事が出来ませんが、諸先輩の現役での活躍ぶりに力付けられる思いで家路につきました。この様な機会を作って下さいました大学、お忙しい中遠い所お運び頂いた先生方、役員の皆様にご感謝致しております。本当にありがとうございました。

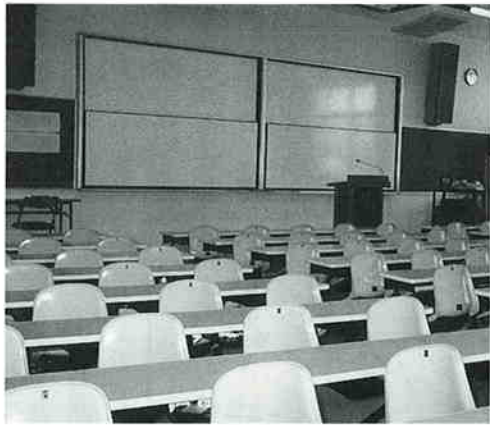
キャンパス散歩

— 母校を尋ねて —

一万人以上の卒業生を出している母校に、新たに四年制大学が誕生する予定です。現在の母校は学園本部の在る藤の沢と、恵庭と二ヶ所にキャンパスがあります。その恵庭に接続する様な形で四年制大学が出来上がりつつあります。

第七号発行にあたり、前号までに多数の方の原稿を読ませていただいているうちに、その時代々で校舎が変わっている事に気付きました。実は私も、南三条校舎、北二十七校舎、短大創設時の校舎、現在の札幌校舎を知っている者です。しかし、現在の恵庭校舎には足を運んだ事がありません。札幌校舎も短大事務室と同窓会室しか足を入れた事がありませんでした。そこで今回は私が学内を散歩し、見てきた事を報告したいとおもいます。

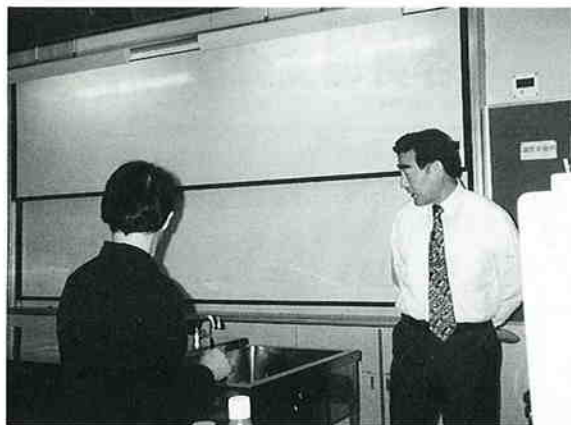
六月末のある晴天の日に、札幌から国道三十六号線を走り恵庭のバイパスを走り一時間でキャンパスに到着です。まず気付くのはキャンパス内で現在四年制大学開学に向けて校舎の建設が盛んに行われ、大きな鉄骨、鉄筋の乱立した物が目に入ります。さっさく玄関横の事務室で挨拶をすると、後輩の桜沢さんが出てきてくださって鈴木課長を紹介されました。お茶を飲むもそこそこに、早速キャンパス内を案内していただく事になりました。まずは一階の一一二教室、私の時代の教室の



1階 112教室

木課長に教えられる。中では学生二名が読書中かな？横の部屋はAVルームだというので入ってみると、お！六台

面積かな？オヤ！まてよ、隣りの一三教室と統いていそうだよ。鈴木課長、これは。「あアこの教室は一教室になるんですよ。この仕切りをはずすとね。総勢三六〇名位の学生が入り、しかも階段式の教室なんですよ。」いやこれは大きい。そこを出て、つき当りは図書室と書いてある。「入り口前にはセンサーがついているんですよ。」と鈴



案内していただいた鈴木課長

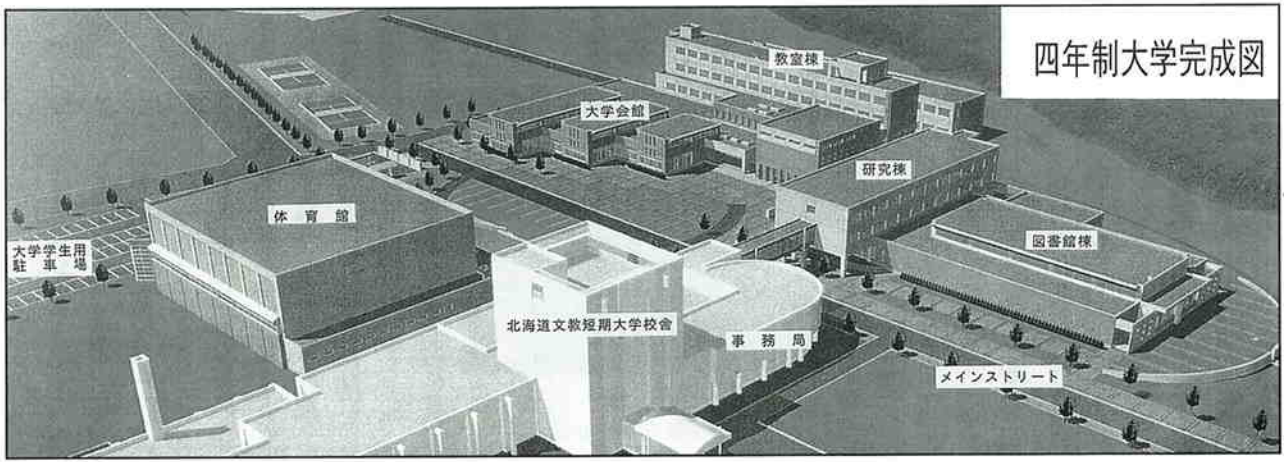
もAV機が並んでる。今度は学生会室のノブに手をかけると鍵がかかってました。さて次はOA実践室、三十二台あるOA機を使って献立作成するとのこと。私の学生時代のそろばんを使ってカローリ計算など、今の後輩達には、わからないでしょうね。次に案内されたのは、あ：なにやりにぎやかな声か

する。和田先生の調理実習の時間でした。六十名余の学生が何やら作っている様です。ちょっと和田先生にごあいさつ。手前は更衣室でした。そこを右手に曲がると、右側に準備室、左が研究室、奥に食品加工実習室、なんと便利な大きなホワイトボードが（スライド式だって）。さてさて、売店、食堂

と書いてある所は、数名の学生がこの集団実習室で交互に実習をするらしい。「何を作っているの。」「切り干し大根です。」という学生の声が続ってきた。

さて、二階に行くと私の目に飛び込んできたものは、道展で見かける画家の絵、卒業生の寄贈だとか、第二実験室に入ると、山形先生の講義の最中でボードには還元剤うんぬんと書いてあった様な気がします。準備室を挟んで、第一実験室。今回は二年生が施設実習の後の休憩中との事で、その他の教室は空いていました。そしてなんとこの校舎にはエレベーターがあり五階まで行ってみました。ここでは別科の学生が講義中でした。またまた発見、窓からみえるパノラマは気分爽快。「課長、あの森が水芭蕉の咲く所ですか。」「そうですね。」と教えられる。建築中の校舎が見渡せる。反対側の実習室からみる風景はまた、樽前山、恵庭岳等の連山が美しく望める。そんなキャンパスでした。

午後は札幌校舎で五十嵐先生と出島さんにお会いし、案内は出島さんにお願ひしました。札幌校舎は増築した分だけ複雑に出来ていて、最初から地下に降りるとピアノレッスン室が並んでる。上にきて、法人本部、四年制大学設置準備委員会室、浅見前副会長がいるらしいので挨拶に寄る。準備委員会



室にも顔を出す。その後一旦外に出て、古い建物の中へ、一階に売店と陶芸実習室、二階が音楽室でした。一号館にもどるとエレピアン室に学生が六人位で練習中、次いで図書館にまわってみました。司書の山口さんが忙しそうにしています。続くAV室は10台のAV機が並んでいます。エレベーターで上へ、そこへ涼しげな姿の学生「何年生？」、「二年生です。」という元気な声。三階には同窓会室、並んで研究室、向かいは視聴覚室、そして第三〇A室にはマツキントッシュコンピュータ三十二台入っていました。調理実習室は右側の方へ、四階は普通教室が多く、第一〇A室にはウィンドウズ95対応コンピュータが三十二台、五階は広いラウンジになっていて大きな絵画が掛けられています。その奥の一五一教室で二年生が比較文化論の講義中です。被服構成実習室は広く製図台、ミシン等有り。あっそうそう学長が生活文化学科の学生に、「秘書学概論」を講義中でしたよ。顔を出させてください、先輩であることを紹介していただき、恐縮してしまいました。最後になりますが、札幌校舎は、山の斜面という立地で複雑に建っているのです、紹介しづらく、全部を紹介出来なかつた事は心残りですが、いろいろな発見がありました。

文責 斎藤道子

お元気でですか？

喜寿を迎えて

青山 一子

《栄養学校9期》



月日の経つのは、ゆく河の水の流れの如しとか、私も二月に喜寿を迎えました。病院勤務二十数年、定年後は六十の手習いで、お煎茶を習い今日迄続いております。煎茶の道は誠に奥の深いものがあり、陶芸、とう漆器、書道など、心豊かな暮らしを導いてくれます。老骨にむちうって頑張っています。

クラス会も楽し

坂田 紀久恵

《栄養学校18期》

栄養学校を卒業してから三十八年、時の流れの早さに驚くばかりです。最初は地方から来札された方と数人で食事しながら話らう程度ですが、六年前に東京在中者と北海道在中者が仙台でドッキング、ニミ同窓会を開き観光地を廻りながらステキな時間を過ごす

ことが出来たので、二年後の卒業四十周年は函館あたりで開催したいと話しております。多くの方に参加を呼びかけ実りあるものにと考えています。

札幌を離れて

中西 紀子

《栄養学校21期》

札幌をはなれて二十数年、学生時代の友人がなつかしい年齢になりました。同窓会に出席して友人との話らいはとも楽しいものです。今年は出席したいと思っております。今は、パソコンに夢中で、メールの交換で友達の輪をひろげています。冬はスキー、夏はハイキングとアウトドアもしっかり、近くに二〇〇二年のワールドカップを行うサッカー場があり運動を行うにはとても良い環境です。

「ただいま帰省中です。」

近藤 榮子

《食物栄養学科1期》



二、三年に一度は帰省いたしております

〈次頁へ続く〉



私は社会人入学というのでしょいか、結婚して子供がいる中で若い学生さんとは10年遅れで幼児教育学科に入

学しました。どうしても資格をとりたいという気持で、子供の保育園への送迎と、藤野にあります登り坂の通学路を二年間通い卒業しました。卒業と同時に山鼻華園保育園に就職

20年を振り返って



渡貫睦子 (幼児教育学科9期)

し、ちょうど私の子供と同じ年齢の子供が沢山朝お母さんとお別れする時に泣く姿が我が子と重なり、私も涙ぐんでしまった事が思い出されます。そして八年勤務した後に移動があり、乳児専門園であります華園乳児に今現在も勤務しています。生後二ヶ月で入園してくる乳児を見て、緊張する反面、天使のような可愛さに心がなごむ思いがします。又

育児と仕事に真剣に取り組んでいる父母の姿を見て、見習う点が沢山あります。そしてこの両保育園に勤務して二十一年がたとうとする昨今、十五年ぐら前に年長児を担任した時の子供達が保育園を訪ねられるようになりました。保育者を目ざして、短大の実習園として訪れたり、大学生になって、とても懐かしいと言って訪れてくれる子供達を見るにつけ、本当にうれしく、いとおしく、子供達に感謝したい気持ちでいっぱいになりました。

今現在も保育という仕事の他に、保育園が地域の子育てセンター的な役割を担っている為に、地域のお母さん達が、子供を連れて遊びに来るように呼びかけたり、育児の相談を受けたり、親子に遊びを提供したりする仕事にも携わっています。定年は六十歳ですので、後十年ぐらいは又一つの折り返し点として、これらの保育園の在り方を展望をもって考えていけたらと思います。

私事ですが、いつまでも子供だと思っていた我娘も保育者になって働いていると言うことは又一段と、うれしいことです。

鶴岡学園短期大学同窓会支部長名簿

支部名	氏名	自宅住所 (TEL)	勤務先 (TEL)	期
石狩支部 石狩・空知	石澤恵美子	〒066-0038 千歳市信濃3丁目24番13号パールハイムD TEL 0123-23-3511	北海道文教短期大学 TEL 0123-34-0211	食22
道南支部 後志・檜山・渡島	小野 幸子	〒044-0014 虻田郡倶知安町南4条東3 TEL 0136-22-0033	倶知安学校給食センター TEL 0136-22-0506	食2
日胆支部 日胆・日高	菅原 美子	〒050-0054 室蘭市白鳥台2-38-6 TEL 0143-59-3306		栄12
道北支部 宗谷・留萌・上川	伊藤 静子	〒097-0012 稚内市富岡4丁目15-2 TEL 0162-32-1056	稚内市立病院 TEL 0162-23-2771	食3
道東支部 網走・十勝	後藤田倫子	〒091-0028 北見市北7条東4丁目 TEL 0157-24-3679	北見学園施設 TEL 0157-24-2701	食3
根釧支部 釧路・根室	山田 敏子	〒085-0053 釧路市豊川町17-19 TEL 0154-24-7237	トップラウン道東研究所	食3

ます。趣味は登山で、主人と共に国内の山々、谷川岳、鳥海山、白山、富士山を歩き、今年は国外に出て、フランスは、モンブラン、マッターホルン、ユングフラウヨッホ、タイガー等でトレッキングして楽しんできました。卒業後結婚した相手が転勤族だったので、

横浜、東京等移動し、主人のふるさと名古屋に落ち着いたつもりでしたが、今回は福岡に転勤が決まりあわただしく引越しを終えたばかりです。当分二人の子供のいる名古屋と福岡を行ったりきたり忙しくなりそうです。

管理栄養士国家試験準備講習会について

近年、管理栄養士が必要とされる職場も多く卒業生の皆さんも早く資格を取得したいと考えていることですが、日常の業務と並行しての受験勉強はさぞご苦労が多いことと推察いたします。卒業生のために本学が少しでもその手助けが出来たらよいと、昨年度(平成10年三月二十一日・二十二日)は



試行的に「管理栄養士国家試験準備講習会」を実施することになり、過去五年間の卒業生にご案内をさせて頂いたいただきました。恵庭校舎において百二十四名が参加し、六教科を受講しました。その結果、年々合格率が低下しているなか、本学の合格者のうち今回の講習

会を受講して合格した卒業生は、半数もおりました。

来年度の管理栄養士国家試験に向けて頑張っている卒業生に今年度も応援したいと考えています。これから二十世紀における管理栄養士の役割を考えると是非資格を取得し活躍されることを期待します。

本年度の準備講習会の実施日は平成十一年一月十六日(土)・十七日(日)を予定していますが、詳細については検討中ですので決まりましたらご案内いたします。しかし本年度も全員の卒業生にご案内は出来ないと考えますので、受講を希望させる方は、ハガキまたはFAXで恵庭校舎へ早めに「準備講習会案内送付」の申込みをしていただくと、必ずご連絡させていただきます。(担当は山形・田中)

恵庭校舎移転十周年記念企画
大学祭のご案内
平成10年10月24日(土)・25日(日)
テーマ
『飯グリ hungry』
卒業生の皆さん、是非恵庭校舎への来校をお待ちしています。

平成10年度予算

自 平成9年10月1日
至 平成10年9月末日

科目	金額	備考
前年度繰越金	2,945,605	
会費	11,925,000	9年度分 310名×15,000円=4,650,000円 10年度分 485名×15,000円=7,275,000円
利息収入	1,500	普通預金利息
名簿代	20,000	5冊
計	14,892,105	

平成9年度決算

自 平成8年10月1日
至 平成9年9月末日

科目	予算	決算	備考
前年度繰越金	6,229,866	6,229,866	
会費	8,100,000	2,850,000	9年度分 190名×15,000円=2,850,000円
定期一部解約利息収入	2,000	72,400	普通預金利息 定期解約利息
名簿代	40,000	40,000	
計	14,371,866	11,696,266	

支出の部 (単位:円)

科目	金額	備考
総会費	500,000	会場費等
卒業記念品費	800,000	500名×1,400円
印刷費	1,500,000	総会の案内・会報印刷等
通信費	2,000,000	総会案内、会報発送、支部通信費 電話代・切手代、他郵送代
事務消耗品費	150,000	事務用品
会議費	800,000	支部長会、常任幹事会、幹事会 会報委員会(規約検討委員会)
交通費	700,000	支部長会、会報委員会、幹事会 会報委員会、(規約検討会)の交通費
アルバイト料	800,000	名簿及び事務の整理
名簿整理費	300,000	名簿等の整理
研修費	700,000	講演会、講習会開催の為
予備費	100,000	
基本金積立	3,000,000	定期預金
次年度繰越金	3,692,105	
計	14,892,105	

支出の部 (単位:円)

科目	予算	決算	備考
平成7年度総会及び懇親会	500,000	402,635	会場費
卒業記念品費	702,000	813,288	560名×1,410円
印刷費	1,600,000	625,801	総会の案内印刷、会報印刷、コピー機
通信費	2,000,000	2,327,491	総会案内・会報発送 電話代・切手代
事務消耗品費	100,000	206,051	事務用品
会議費	800,000	562,475	支部長会・常任幹事会 幹事会・会報委員会
交通費	700,000	340,940	支部長会・常任幹事会 幹事会・会報委員会
アルバイト料	800,000	582,355	名簿及び事務の整理
名簿整理費	1,500,000	889,625	名簿等の整理(パソコンリース料・パソコン代)
研修費	700,000	0	
予備費	50,000	0	
基本金積立	2,000,000	2,000,000	
次年度繰越金	2,919,866	2,945,605	
計	14,371,866	11,696,266	

平成10年度事業計画(案)

- 一、同窓会名簿の整理
- 二、平成9年度卒業生への記念品贈呈

- 三、研修会(講演会、講習会、見学会等)の開催
- 四、会報の発行(第七号を発行予定)
- 五、支部の充実(日里支部と北海道文教短期大学との合同懇親会を開催予定)
- 六、規約改正
- 七、その他

平成十年度 同窓会総会のご案内

日時 平成十年十月三日(土)

受付 午後四時三十分

講演会 午後五時

総会 午後六時

懇親会 午後七時

場所 KKR札幌

札幌市中央区北四条西五丁目

☎(〇一一)二三一―六七一一番

会費 五、一〇〇円(懇親会出席者のみ)

役員

- 会長 北崎 迪子(食3)
- 副会長 長澤 愛子(食4) 田中 律子(食12) 舛田 真弥(幼14)
- 常任幹事 橋本美佐子(栄1) 阿部 継子(栄13) 鈴木 栄子(栄15)
- 土方美恵子(食2) 佐野喜和子(食11) 高橋恵美子(食13)
- 工藤 祐司(食26) 西野 英子(幼11) 石井 千章(幼14)
- 永沼 恵子(幼26)
- 會計 市田 信(栄19) 小向 朝子(幼12)
- 監査 北川 幸子(栄4) 豊島 琴恵(食23)

同窓会事務局(札幌市南区藤野四〇〇番地・北海道文教短期大学内)
直通専用電話(アルバイト不在時 留守電可)

☎(〇一一)五九二―七六三六番

ファックスも兼用になっておりますので、どしどしご利用下さい。

短大のオリエンテーション開かれる

室蘭パレスホテルにて合同の懇親会を開きます。多数ご参加下さい。

日時 九月十六日(水)六時三〇分

場所 室蘭パレスホテル

会費 二、〇〇〇円(写真代込み)

連絡は日胆支部長 菅原 美子 さん

☎(〇一四三)五九一―三三〇六

同窓会長、その他役員出席予定

【平成十一年度入試予定】

帰国子女、外国人留学生、転入学生を対象とした特別入試もあります。詳しくは短大入試事務局へ。

学 科 等	出 願 期 間	試 験 日	合格発表日	入学手続締切日
推 薦	生活文化学科	平成10年		12月18日
	幼児教育学科	11月14日(土)	12月8日(火)	(金)まで
	食物栄養学科	～11月26日(水)		
I 期	生活文化学科	平成11年		2月17日
	幼児教育学科	1月9日(土)	2月6日(土)	(水)まで
	食物栄養学科	～1月25日(月)		
II 期	生活文化学科	平成11年		3月16日
	幼児教育学科	2月10日(水)	3月6日(土)	(火)まで
	食物栄養学科	～2月25日(水)		
別 科	上記の3学科の推薦、I期、II期のそれぞれと同じ期間	上記推薦、I期、II期の各試験日	上記推薦、I期、II期の各発表日	上記推薦、I期、II期の各締切日
専 攻 科	上記の3学科の推薦、II期のそれぞれと同じ期間	上記推薦、II期の各試験日	上記推薦、II期の各発表日	上記推薦、II期の各締切日
(食 物 専 攻)				

札幌校舎 (011) 591-8531 恵庭校舎 (0123) 34-0011

編集後記

「はまなすの実」も第七号を出すまでとなりました。八ページというページ数ではありますが、完成までに四ヶ月近くもかかってしまいました。

最初の編集会議ではまず企画を、これがまた時間のかかる事でした、その段階が終わると、少し気が楽になります。ところがその次がどの方にお願ひするのか、多勢の方に書いていただきたい、そして近況を知るところとしたいとおもっております。先日、卒業以来三十数年ぶりにクラスメートと会いまして。はまなすの実いつも読んでいますよ。と言われて苦労も飛んでしまいました。今後切れる事なく続いていく事を念頭において。

編集委員

- 北崎 迪子・出島 秀子
- 斎藤 道子・松木 寛美
- 渡部 祐子・西家 史恵
- 梅本久美子・小宅 麻美

発行所 鶴岡学園短期大学同窓会

- 会長 北崎 迪子
- 編集委員長 斎藤 道子

札幌市南区藤野四〇〇番地

電話(〇一一)五九二―七六三六番

〈題字は浅見晴江さん(食4期)による〉